

区の文化財知って

「薬師堂」20日に開放



20日に開放する御射山
神戸区の仏堂「薬師堂」

御射山神戸区 念仏講や風景画解説

富士見

富士見町の御射山神戸区は20

日、区所有の仏堂「薬師堂」を開放する。使われる頻度が少なく、普段は入れない区の文化財を知ってもらおうと実施。彼岸に合わせて室内の雰囲気を感じてほしいと来場を呼び掛けている。

神戸区誌によると、薬師堂は1739年に建立。隣接する瑞雲寺の所有だったが1892年に同区が買い取り、保育所の設置や会合の場として利用されてきた。近年は薬師堂の改修作業をした大工の集会所が年1回開かれるのみで、

長年維持管理していた団体が22年に解散。区では検討委員会で建物の存続を決めて整備や残し方を考えており、今回の開放はその一歩となる。

当日は彼岸に合わせて念仏講を実施して区内の先祖を供養。江戸時代後期の浮世絵師、安田雷洲が1851年に描いた堂内にある風景画の解説も行う。瑞雲寺の根田泰聖住職が、丘の上から見た薬師堂や瑞雲寺などがある同区の街並みを描いた絵画を説明する。

小林孝広区長は「貴重な文化財もある薬師堂をこの機会に知ってもらいたい」と話している。開放は午前8時～正午。念仏講は午前9時から行う。申し込みはいらない。